

教育警察委員会委員協議会の概要（教育）

開催年月日	平成31年1月21日	開会、閉会時間	13時01分から 13時51分まで
委員の出欠	出席：長屋委員長、布俣副委員長 藤墳委員、小川委員、松村委員、水野（正）委員、太田委員、牧村委員 欠席：なし		
【議題等】			
・地域連携による活力ある高校づくりの取組みについて			
(質疑の内容)			
発言者	発言内容		
【地域連携による活力ある高校づくりの取組みについて】			
牧村委員	地元企業や自治体との連携がよく図られていることは理解できたが、地元の大学や大手企業との連携については、今後行っていくのか。		
教育総務課長	地域によって状況の違いはあるが、岐阜市内の高校では大学等との連携も検討している。大手企業については様々なつながりを生かし連携を模索したい。		
牧村委員	中学生の進路選択は保護者の意見に左右される場合も多いが、保護者は進学に有利な高校に行かせたいという思いもある。少人数教育の取組みもあるが、各学校の協議会などで学力の向上についてもっと力を入れていくべきといった意見はないか。		
教育総務課教育主管	グループ1、2（※）の高校では、少人数教育を生かすことで、生徒の学力に大きな伸長が見られた。そのことを保護者や生徒にいかにかにPRしていくかが大切である。 ※グループ1…小規模化の進行が急な高校（10校） グループ2…今後、小規模化の進行が懸念される高校（9校）		
布俣副委員長	地元でも、高校の地域連携の取組みにより、地域の方々の高校に対する意識は大変高まったが、逆にグループ1、2以外の学校の保護者からは、このような取組みがうらやましいとの声も聞く。グループ1、2以外の学校についての今後の方向性はどうか。		
教育総務課教育主管	来年度から、「ふるさと教育」ということで、それぞれの学校の特色に応じて、全ての高校において地域との連携を推進していく予定である。その際、グループ1、2の取組みを参考にし、各高校に広めていきたいと考えている。		
水野委員	ふるさと教育がいわゆる進学校にも広がることは大変良いことだと思う。一方で、学校運営協議会（コミュニティスクール）では具体的にどのようなことを協議するのかを明確にする必要があるのではないか。		
教育次長	今までの協議会では、学校のありのままの姿を見てもらい意見を募る手法も見受けられたが、学校側から課題を積極的に提起する手法も見られた。今後は、後者の手法を採用し、学校側が課題を明確にして、協議会等に意見を求めるべきと考えている。		

松村委員	高校の存続は地域にとって大きな課題でもある。今回の取組みの成果をしっかりと検証していただき、今後も地域連携を進めて欲しい。
太田議員	各高校の地域連携の取組みについて、お互いの高校が情報交換できるような場があると良いのではないかな。
教育総務課長	地域連携の取組みは、グループ1は3年間、グループ2は2年間行っており、これらの成果を検証した上で、広く他の学校にも情報共有して、次の取組みにつなげていきたい。
藤墳委員	グループ1、2の高校は、歴史的にも地域に根ざした高校が多い。地域全体を見渡し、他校の定員を調整する必要もあるのではないかな。
長屋委員長	今後の地域連携による活力ある高校づくりの取組みのスケジュールやグループ1、2の高校の在り方についてはどのように考えているかな。
教育総務課長	各地域で広く学びを保証していくという視点でこれらの取組みを進めているところである。今後もグループ1、2の高校における地域連携の取組みを継続しながら検討していきたい。
長屋委員長	県立高校により多くの生徒が来てもらえるようPRに努めていただくと同時に、ICTを活用するなど学力の向上に向けた取組みも進めていただきたい。